

かしままさおの

ねりまタイムズ

特別号



新しい年を迎えました。日頃から、皆さま方にお力添えを頂き、心から感謝を申し上げます。

区議会に送り出して頂き、間もなく4年が経過しようとしています。振り返ると本当にあっという間で、無我夢中で前に進んできた、そんな印象があります。

区議会1期の新人議員ではありますが、この4年間、誰よりもひたむきに「政策の実現」に邁進してまいりました。

私は二世議員でもなく、政治家の秘書をしていたわけでもありません。「素人に何が出来るんだ。」この世界では、そんな風に思われることもありましたが、決して順風満帆な4年間ではありませんでしたが、逆に「政治未経験」を武器として、民間の経営感覚を大切に、古い慣習に挑んでまいりました。

「政治」というと、どこか敬遠しがち、自分にはあまり関係がない。そのように思われる方も多いと思います。しかしながら、政治は決して遠いものではありません。

特に区政は皆さまの生活そのものです。子育てのこと、教育のこと、病院のこと、介護のこと、公園のこと、交通環境のこと、など。

皆さまが、日々の暮らしの中で感じる思い、生活の中での課題を、政策の実現を通して解決する。今日よりもっと良い明日を用意する。それが区議会議員の役割であると思っています。

だからこそ、サブリーマン出身として一般の区民感覚を大切に、「いつまでも大根一本の値段が分かる」そんな議員でありたいと、感じています。

自民党と聞くと、どこか古臭い、クリーンでなさそう、そんなイメージがあるかも知れません。しかしながら、現在の日本で、政策実現を通じて、成長を前進させ、有権者の皆様に責任を果たしていけるのは唯一、自民党であると私は確信しています。

野党が「何でも反対」、「揚げ足取りの反対」に終始する姿勢は国会も区議会も変わりません。また一人きりのいわゆる「無所属」では、議案を提出する権利もないのが実情です。

もちろん、自民党も様々な面で変わっていかなくてはなりません。謙虚におこらず、真摯にひたむきに、まっすぐに誠実に、そんな姿勢が今、求められています。

新しい・まっすぐな自民党、そんな姿を理想とし、これからも、政策実現に邁進していくことをお誓い致します。本年も、かしまさおへの強いご期待と熱いご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成三十一年 元旦

鹿島 正雄

まっすぐに、誠実に。政策を実現。

自民党として これまでに実現したこと。

子どもたちの未来のために

- ・ 保育所定員数の拡大（5年間で約4500名）
- ・ 幼稚園入園料補助の増額（平成29年に2万円増額）
- ・ 防犯カメラの増設（区内1200台の増設）

地域の安全安心、利便性の向上

- ・ 学校体育館への冷暖房設置（避難拠点となる区立学校体育館に平成31年より順次、設置開始）
- ・ 街かどケアカフェの推進（南大泉5丁目に誰もが気軽に集える場を新設）
- ・ 医療環境の充実（練馬高野台と大泉学園町に新病院を誘致）
- ・ 無料Wifi環境の整備（区内4か所）

区政に民間の経営感覚を!

- ・ 議員の定額制交通費を廃止（平成29年4月に廃止）
- ・ 政務活動費の公開（使用用途・金額をホームページにて公開）



自民党として 引き続き取り組むこと。

交通利便性の向上

- ・ 大江戸線の早期延伸
- ・ 保谷駅周辺の利便性向上（踏切の早期解消、みどりバスの駅発着の実現、駅前通りの安全性確保、都市計画道路の着実な整備）
- ・ 西武新宿線の立体化早期着手（上石神井駅・武蔵関駅の街づくりを促進）

誰もが安心して暮らせる練馬へ

- ・ 安心して子育てできる街づくり（幼児教育無償化の着実な実現、子育ての広場の充実、保育所・学童クラブの待機児童ゼロ、ボール遊びや花火など子供たちが自由に遊べる環境づくり）
- ・ いつまでも自分らしく元気に暮らせる街づくり（光が丘病院や順天堂病院の増床など医療環境の充実、リハビリ専門職を積極活用した介護予防の取り組み）
- ・ 都市農業の魅力溢れる街づくり（街かどマルシェの積極開催、防災面における農地の活用、体験農園や果樹あるファームなど農に触れる機会の拡充）
- ・ 受動喫煙対策の強化

正直な人が報われる区政の実現

- ・ 生活保護費の不正受給対策の徹底

大泉井頭公園の拡張・整備に着手します。

第三次「練馬区みどりの基本計画」（素案）が公表され、これまで以上にみどりを保全・創出していく姿勢が打ち出されました。その中の一つに、大泉井頭公園を「豊かな水辺空間の創出」をテーマとして拡張・整備していく方針が盛り込まれています。

南大泉・東大泉地域の憩いの場である井頭公園。より快適に、より魅力ある公園として、川の流れや植生などの自然条件を活かし、特色ある公園づくりを進めます。

私からは民間カフェの誘致や、音楽祭やお祭り等、地域の方が活用できるスペースの設置の他、防災の拠点となるような仕組みづくりを求めています。



区が考える今後の公園のラフイメージ図
(ランドデザイン構想より抜粋。)

※井頭公園の直接的な
設計イメージではありません。

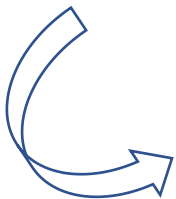
地元の課題を「いついつ、着実に解決していきます」。

以前、大泉第六小学校に通う生徒の保護者の方から、通学路の危険な箇所のご指摘を頂きました。保谷駅東側の都道233号線上に存在する電柱が歩道の通行の支障となっていたとのことでした。

現場を確認させて頂いたところ、電柱とガードールの幅が狭く、集団で登校する機会が多い生徒にとっては危険の大きい配置となっていました。当該箇所は長時間踏切で待たされた車が勢いよく通過することも多くあり、実際に人身事故も発生している場所でした。

該当箇所が都道上であったことから、東京都の第四建設事務所と調整を進めながら、課題解決にむけ、取り組んでまいりました。また前都議会議員、高橋かずみさんにも多大なご尽力を頂きました。

近隣の方や電柱を利用している民間事業者など複数の関係者との調整が必要であったため、解決までに数年を要してまいりましたが、無事に電柱を移設し、安全に通行できる歩行環境を作り出すことが出来ました。



災害対策を万全に。



太陽光で充電ができる
ソーラーモバイルバッテリー

大阪府北部地震をはじめ、7月の豪雨、相次ぐ台風、北海道での地震など、昨年は大きな災害が続きました。

自民党はこれまで、避難拠点となる小中学校体育館への冷暖房の設置（平成三十一年より順次設置）、パネブロック等立てトイレの導入、備蓄物資の強化、危険な災害対策に大きく力を注いで参りました。

平成三十一年度の予算編成に向け、モバイルバッテリーの配備など、各避難拠点における携帯電話充電機能の拡充や通信環境の充実、区内に7カ所ある帰宅支援ステーションにおける備蓄の強化などを要望しています。

区が備える公助ももちろん大切ですが、各家庭が飲料水や食料など、最低3日分程度、確保しておく自助の姿勢が最も重要です。震災はいつ起こるか分かりませんが、しっかりと対策をすすめましょう。

区政の相談事、お気軽にご連絡ください。

練馬区南大泉3-9-22
TEL:03-6904-4363
(本人直通) 090-9325-5687
公式HP:kashima-masao.com



左のQRコードで
私のLINEに
直接繋がります。

政務活動費について。

昨今、地方議会の政務活動費に関する不正が政治不信を招く原因となっています。かしまさおは「政務活動費の完全公開」を公約に掲げており、使用用途・金額の詳細を全て自身のホームページで公開しています。

また昨年から、区議会全体においても、会派ごとの項目公開を実現することができました。区民の皆さまから信頼される区議会を目指して、詳細な完全公開実現に向け、引き続き声を挙げて参ります。

かしま まさお（鹿島正雄）プロフィール

昭和61年 練馬生まれ / 私立暁星小中校卒業
早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒業
日本航空（株）でのサラリーマン勤務を経て、
公募で自民党の公認を獲得。

現在

練馬区議会議員 1期

1児のパパ

「まっすぐに、誠実に。」を胸に奮闘中。



地元の町会や商店会、消防団など、
地域密着で活動しています。

